

新型コロナウイルスへの対応について

(Ver. 7)

Educarealizeグループ

ハートフィールド・アネーロ・クオーレ感染症対策委員会

まこと幼稚園・夢の学舎感染症対策委員会

ハートフルナーサリー感染症対策委員会

令和2年4月13日作成

まえがき

- この感染対応マニュアルは、2020年3月10に開催したハートフィールド感染症対策委員会で検討したことをまとめて、その対応策を職員に示すものである。
- 今般、感染の拡大をみることができ新型コロナウイルスは、未知のウイルスである。
- そのため、未だ科学的、医学的にわからないことが多く、わかっていることは極めて少ない。
- ウイルスに感染した人が悪いわけではない。感染を拡大させないために予防の徹底と感染の早期発見を望むためこのマニュアルを作成した。
- この対応策も今後の状況の変化に応じ変更されていく。

現時点で新型コロナウイルスについてわかっていること

- 子どもは感染しづらいと言われているが、国の専門家会議でも今後の知見によって変わり得ると指摘し、山梨県では乳児の感染および重症化していることが報告されている。
 - * ただし京都市南区所在の南保育所では、保育士から園児への感染があったことから、保育士等は保育室内の環境、自分の行動に留意する必要がある
- 若い人の間で無症状で感染を拡大させていると推測されていたが、中高年の人たちも感染源となり始めている。
- 病院、高齢者、障がい者、老健など福祉施設においてクラスターが見られるようになってきた。
- 新型コロナウイルスに感染した人の80%は軽症で済む
- 15%が重症、5%が生命の危機(その中の2%が死亡)
 - * 高齢者、基礎疾患を持っている人は重症化しやすい→ ハートフィールドの利用者はこの20%に該当する

ウイルスの侵入を防ぎ、万が一、入ってしまった場合も
早期に適切な対応をとることが重要

高齢者介護施設・障害者施設の対応方針（厚労省）

緊急事態宣言が出された地域では…

- ・休業について
知事が通所施設、短期入所施設に使用の制限や休業を要請できる
- ・継続する施設
障害者支援施設などの入所施設や訪問介護は休業要請の対象外

緊急事態宣言が出ていない地域では…

サービスの縮小などは求めず、十分に感染防止対策をとった上で、サービスを継続的に提供することが重要である

- ・すべての地域を対象とした感染防止策を改めて提示
- ・面会の制限
- ・施設来所者の詳細な記録→来訪者記録表の改訂
- ・活動時の「3密」を避ける
- ・感染者は原則入院、濃厚接触者は隔離対応 など

グループとしての対策の改善

エデュケアライズグループ感染症対策委員会は、前頁の厚労省の方針を受けグループで取り組んできた対応策が妥当であると評価している。

その上で以下の点について改善する

①来訪者記録表の変更…改善済み（幼稚園、保育園でも共有）

②ハートフィールド日中活動の内容の見直し

- ・テーブルを囲んでの活動は避ける
- ・散歩、日光浴など戸外での活動を取り入れる

③ハートフィールドでの入浴時間の割り振り方の見直し

- ・入所利用者と通所利用者の浴室を分ける

北側浴室…入所者（午前＋午後）

南側浴室…通所（午前）、放デイ（午後）

④職員の休憩時間では向かい合って座らず、距離をとる

⑤消毒の徹底…クリーンアップタイムでの役割分担

いつ：朝の申し送り

だれが：リーダーが

どこを：ドアノブ、手摺り、エレベータ、電気スイッチ…清掃職員に依頼

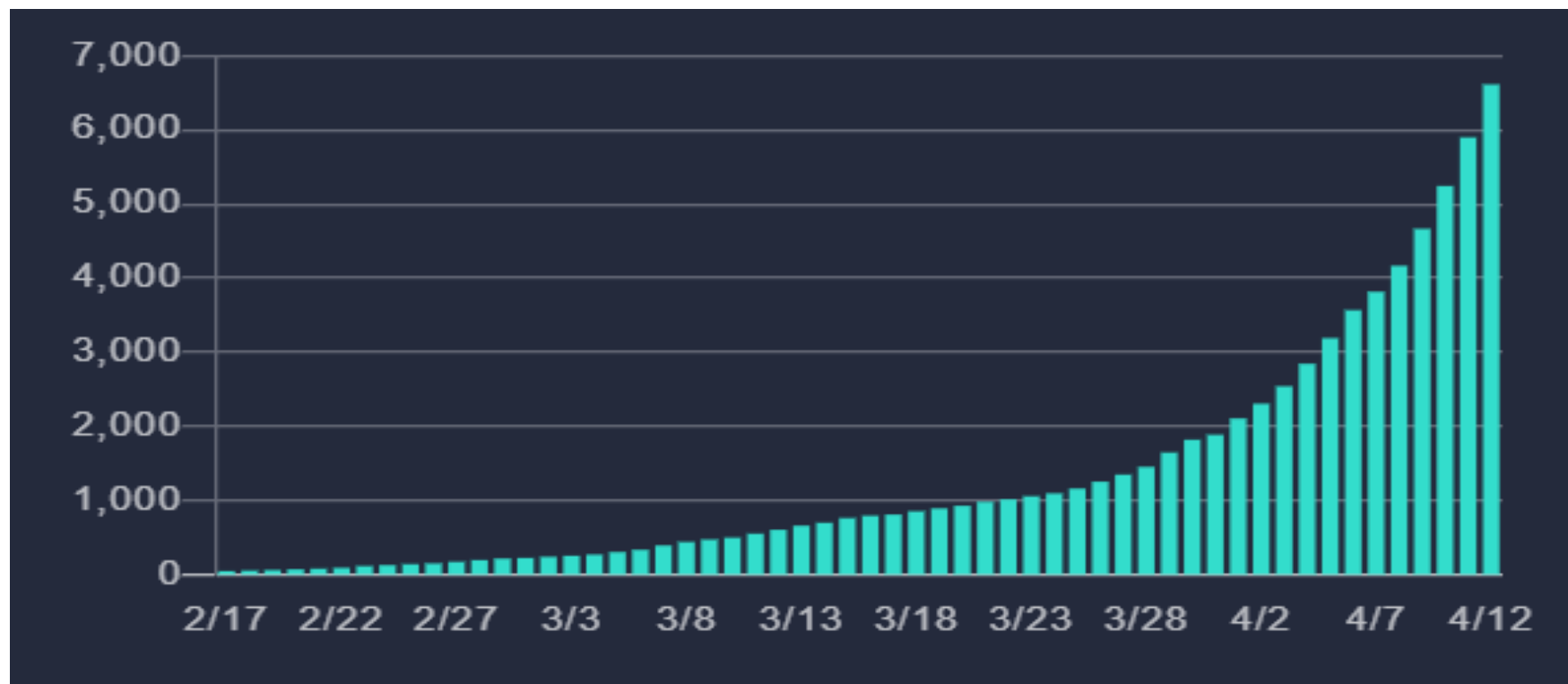
車椅子のハンドル、ベッド柵…介護職員に割り振りを

どのように：ハイター希釈液0.05%、清掃用ぞうきんを使用し、ぞうきんは洗濯し、再利用する

1

新型コロナウイルス 感染者数の推移

4/12 12:00時点 6616名



（厚生労働省の資料「PCR検査陽性者」の数。感染はしているが症状がないケース（＝無症状病原体保有者）も含む。日付は都道府県から厚生労働省への報告ベース。

2

感染経路

1 飛沫感染

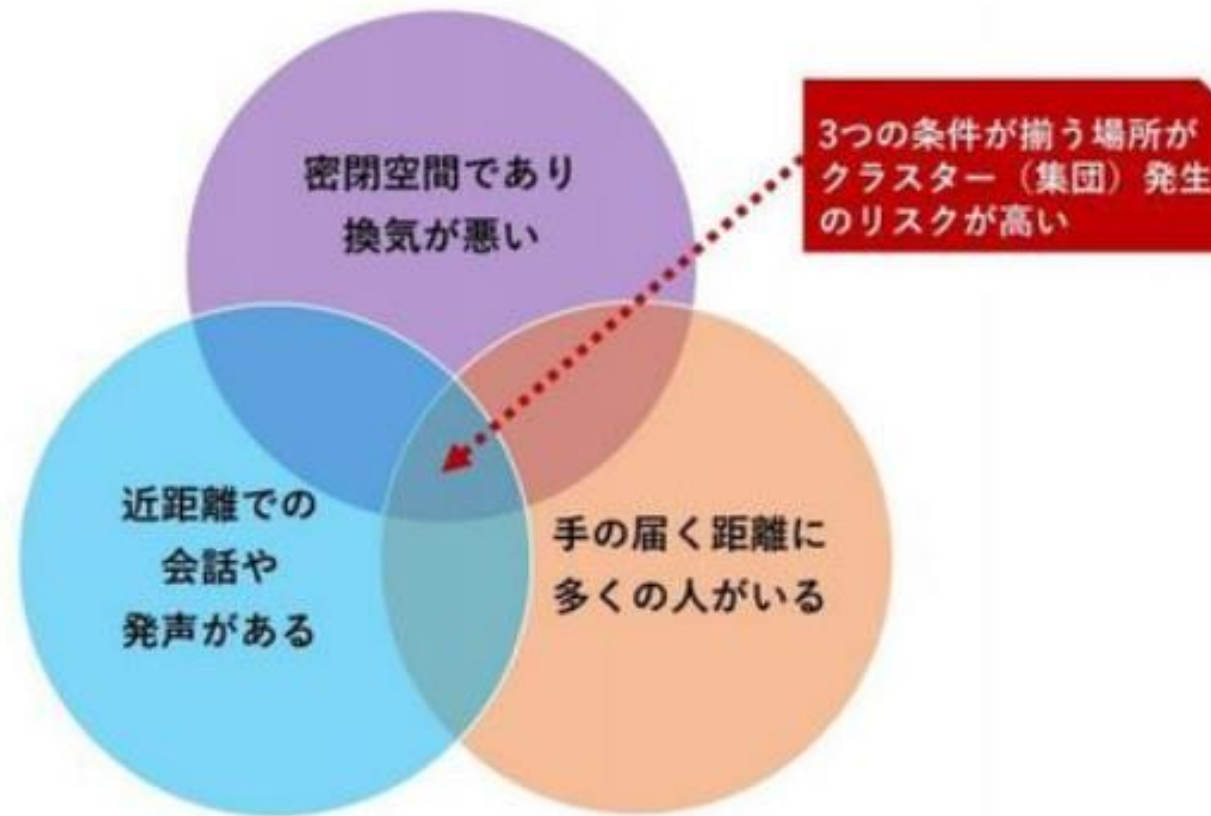
- ・咳やくしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染する

2 接触感染

- ・感染者（感染源）に直接接触して感染する
- ・ドアノブ、手摺りなどに付着したウイルスが手に付着し、その手で口、鼻、目を触ることで粘膜から感染する

3

集団感染確認の共通点



（国の専門家会議における見解）

4

エテュケアライズグループ としての基本戦略

- 1 時間を決めてこまめに換気する（10時、14時、16時）
- 2 行事などは人口密集度を減らす
- 3 近距離での会話を控える
- 4 勤務時マスクの着用
（3月28日、千葉県の障害者支援施設での集団感染の事例を受けて）
- 5 手洗いの徹底
始業時の手洗い
職員玄関前で消毒→検温→着替え→手洗い→始業

+ ハートフィールドでは…

- 家族の面会禁止
- 来客者は玄関の外で対応
（施設内に入る場合は検温と風邪症状の有無の確認）

5

障がい者施設・幼稚園・保育園を 安全地帯に

感染者（疑いも含む）の早期発見・早期対応

障がい者施設を安全地帯に

- ハートフィールドは地域から離れた場所にあるので比較的安心であるが、「安全ゾーン」の確立を目指す
- 「安全ゾーン」を確立するためには外からのウイルスを侵入させないことに細心の注意を払う
- 特に重要なのは、手指の消毒と手洗い
- 体調の悪い職員の出勤停止
- 他施設サービスを利用している通所・SSの利用者に対し利用事業所の一本化を要請し、他事業所からの持ち込みを防止する



幼稚園・保育園を安全地帯に

- 幼稚園に通う園児は感染しづらいと言われているため比較的安心であるが、「安全ゾーン」の確立を目指す
- 「安全ゾーン」を確立するためには外からのウイルスを侵入させないため、家庭への協力依頼を積極的におこない最新の注意を払う
- 特に重要なのは、手指の消毒と手洗い
- 体調の悪い職員の出勤停止



予防について

感染症対策へのご協力をお願いします

！ 手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いのポイント
・手洗いの前後は水で濡らしておきましょう
・指先や指の間は外して洗ってください



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



感染症対策へのご協力をお願いします

！ 咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とつきの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット



正しいマスクの着用



PPEつけ方

①手洗い・手指衛生



②ガウン



③マスク・ゴーグル



④手袋



(重要)手袋をした手で顔や他のPPEを触らない

PPE外し方

PPEは病室内で外す

①手袋



②ゴーグル



③ガウン



④マスク

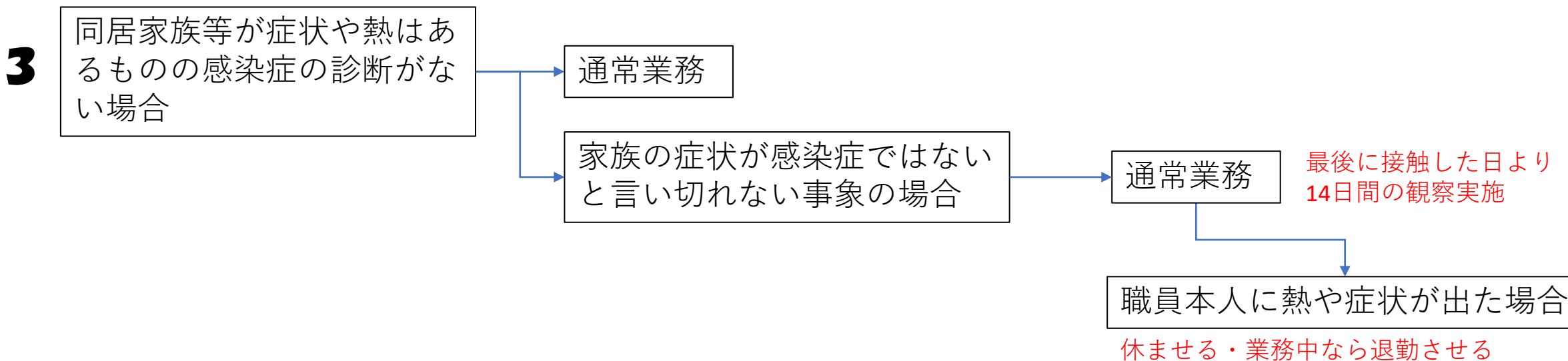
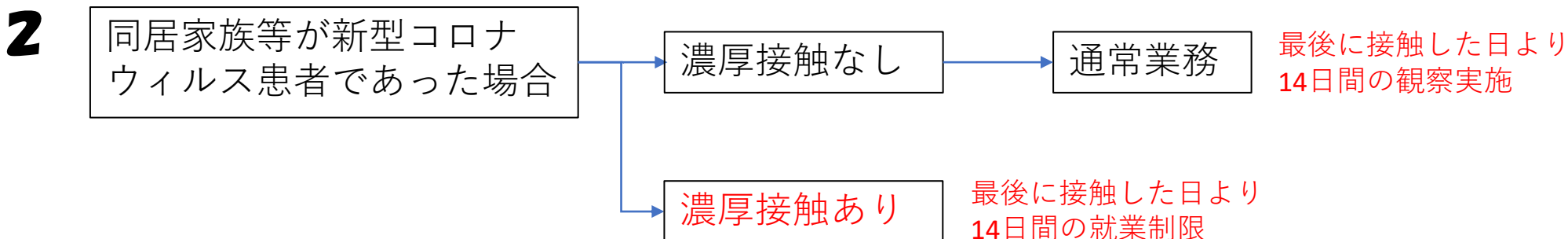
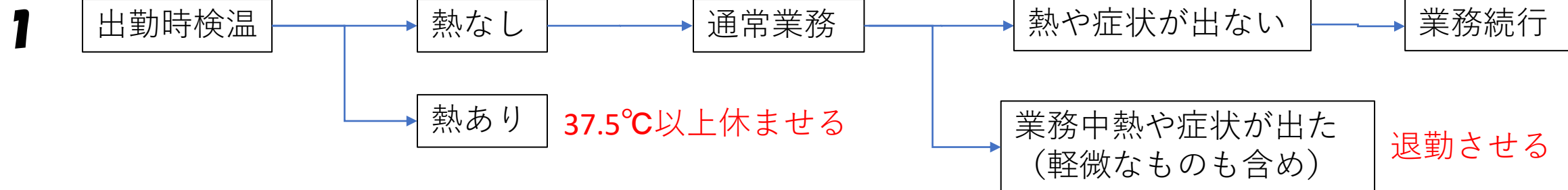


(重要)PPEを外した後は、手洗い・手指衛生



具体的な手順について

職員の健康管理と就業制限



参考1 新型コロナウイルス感染症における濃厚接触の考え方

- ✓ 患者と同居している。
- ✓ 患者と手の届く距離で数分間の会話をしたが、互いにマスクを着けていなかった。
- ✓ 患者の身体、または分泌物や排泄物に直接接触し、直後に手指衛生を行わなかった。
- ✓ 換気の悪い閉鎖された空間に患者と1時間以上一緒にいた。
- ✓ 集団感染の発生が報告されている同じ場所と時間に1時間以上いた。

参考2 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者の考え方

- ✓ 表1に示す濃厚接触が14日以内にあり、発熱や咳などの症状を認めている。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症が地域で流行している状況にあり、発熱や咳などの症状を認めてから4日以上が経過しているものの軽快しない。

参考3 感染防護具や消毒薬が入手できないとき

ア) サージカルマスク

布やガーゼによるマスクで代用する。鼻までが覆えるように工夫すること。ただし、防御機能は低下しているため、できるだけサージカルマスクを入手する。

イ) 手袋・使い捨てエプロン・アイゴーグル

- 素手であっても、ケア直後の丁寧な手洗いで感染は防御できる。
- ゴミ袋の底に1カ所と側面の2カ所に穴を開けて、レインコートのように被ることで代用できる。
- 透明なアクリル板を適切なサイズに切って眼鏡に張り付けることで防御できる。

ウ) 消毒用エタノール

○台所用合成洗剤を200倍に薄めた液体(水1Lに洗剤5mLを加える)でウイルスを不活化できる。刺激があるため手指衛生には不適だが、環境清掃に使用できる。

判断軸は 37.5 °C

1 Educarealizeグループで想定されるリスクを重大なものから記してみると・・・

- (1)職員に感染していると思われる症状が出現する
- (2)利用者や園児に感染していると思われる症状が出現する
- (3)職員や利用者、園児の家族に感染していると思われる症状が出現する
- (4)職員が感染した人と接触したことが確認された
- (5)利用者およびそのご家族が感染した人と接触したことが確認された
- (6)宇都宮市内砥上町、鶴田町、古賀志町、福岡町、宝木本町といった各施設に近いエリアで感染が確認された
- (7)宇都宮市内で感染が確認された

Educarealizeグループとしての職員に関する 感染リスクの判断および評価基準とその対応

37.5℃以上の熱発

感染の可能性を判断するための調査

- 1 本人への行動状況調査
 - ・当日実施 本人及び同居家族分を確認
 - ・熱発日より5日間振り返り
 - ・利用者との接触状況を確認
 - ・確認者（施設長・園長・副施設長・保育主任）
- 2 濃厚接触に関する判断リスト
 - ・バスキャッチによるアンケート
 - ・締め切り時間厳守
 - ・他の職員への感染の可能性を判断（感染症対策委員会）

評価の基準

本人

- ① 37.5℃以上の発熱
- ② 3条件のいずれかの場所に行った
- ③ その際のマスクの着用状況

同居者

- ① 37.5℃以上の発熱
- ② 3条件のいずれかの場所に行った
- ③ その際のマスクの着用状況

感染の可能性の判定

- レベル1 感染の度合いが低い
- レベル2 感染の度合いがやや高い
- レベル3 感染の度合いが高い

Educarealizeグループとしての指示

- レベル1 感染の度合いが低い…体温管理と報告・解熱後24時間で勤務可能・勤務時はマスク着用
- レベル2 感染の度合いがやや高い…体温管理と報告・3日間の自宅療養
- レベル3 感染の度合いが高い…体温管理と報告・7日間の自宅療養

早期発見対応フロー

グループ全体職員編

咳・上気道炎等風邪症状
味覚・嗅覚の異常

上司へ申告

経過観察

当日
始業前検温及び始業6時間
後に検温実施

37.5°Cの熱発

聞き取り調査

施設

本人

感染の疑い
が強い

退勤

施設内消毒

帰宅後、安静にし12時、17時に
検温

施設に報告
(施設長又は副施設長)

37.5°C以上継続

37.5°C以下

休み

出勤可能

24時間
経過

当日

翌日

発熱が4日間継続

保健所へ連絡

施設・保健所協議

休業措置の検討

グループとして感染の
可能性を判断する根拠

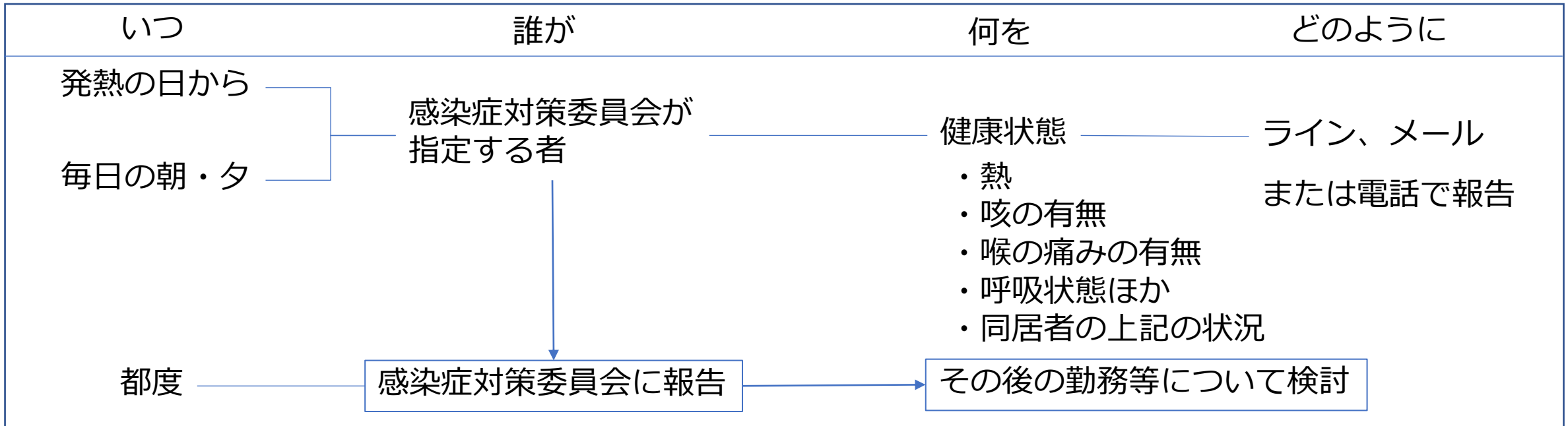
本人への聞き取りは自家
用車から電話で実施

判断基準に照らし合わせて
(評価レベル2~3)の場合

ハートフィールドとして感染の可能性を判断するための調査

- 1 本人への行動状況調査
 - ・ 当日実施 本人及び同居家族分を確認
 - ・ 熱発日より5日間振り返り
 - ・ **利用者との接触状況を確認** (具体的に)
 - ・ 確認者 (施設長・園長・副施設長・保育主任)
- 2 濃厚接触に関する判断リスト
 - ・ バスキャッチによるアンケート
 - ・ 締め切り時間厳守
 - ・ 他の職員への感染の可能性を判断 (感染症対策委員会)

37.5℃以上の発熱があった職員および濃厚接触が「高い」と判定された職員にたいする感染症対策委員会の健康観察と管理



被観察者の職員の報告義務

いつ	誰が	何を	どのように
発熱の日から 毎日の朝 8～9時 毎日夕方 5～6時 解熱後5日間	本人または家族	健康状態 ・ 熱 ・ 咳の有無 ・ 喉の痛みの有無 ・ 呼吸状態ほか ・ 同居者の上記の状況	ライン、メール または電話で報告

各施設ごとの具体的手順

リスクは回避するのか選択するのかという問いを考えてみること

- 結論から言えば、リスクをゼロにすることはできない。だから選択するものということです。
- 一つのリスクを避けようとするれば、新たなリスクが発生する。すべての面で、このことはあてはまります。例えば、マスクを健康な人たちがすればするほど、医療機関や介護施設でのマスクの確保が困難になり、真に必要な人が使用できなくなる。デイサービスを休業にすれば、利用者間の集団感染のリスクは減らせるが、外出やリハビリ、入浴の機会が減少することは、利用者の心身の機能や生活の質を低下させる。
- 入所している利用者が発熱し病院を受診する。そのほうが、職員としては安心だ、という気持ちも理解できる。だが、入院になれば、利用者にとっては先に記したような心身の機能や生活の質を低下させてしまうかもしれない。この社会事情により、入院させてもらえることができずに、感染しやすい病院という場から戻ってきたら集団感染を引き起こすことになるかもしれない。それなら、受診せずに施設内で支援を行ったほうがよい。
- どの選択がより安全で、より合理的なものになるのか、私たちの工夫や努力によって安全性を確保できないのか。リスクをゼロにしろという要求はもとより不可能であるということです。
- どのリスクであれば自分たちにとって受け入れやすいのかを、この新型コロナウイルス感染の問題から考えさせられるのです。
- そしてそれ以上に、個人の行動、こまめな手洗いや専門家会議が示した三条件の回避、不特定多数の場に行くときにはマスクを着けるといった、簡単でシンプルなことを徹底して予防することが重要です。

園児の保護者や利用者・ご家族へのお願い

国内における感染症の発生が予想される時	感染症発症についての告知と感染予防への注意喚起
国内における感染症の拡大初期	感染症予防への注意喚起 感染症対策マニュアルに従っての対応となることを告知
国内における感染症の拡大中期 各施設で感染者が確認された時 国内の感染者数が増加し始めた時 政府が非常事態宣言を発出した時	複数の施設を利用している方へ利用を一か所にしていただく協力依頼 勤務先等での感染症確認の情報提供依頼 感染症予防への注意喚起

* 「お願い」の発出者：各施設長とする

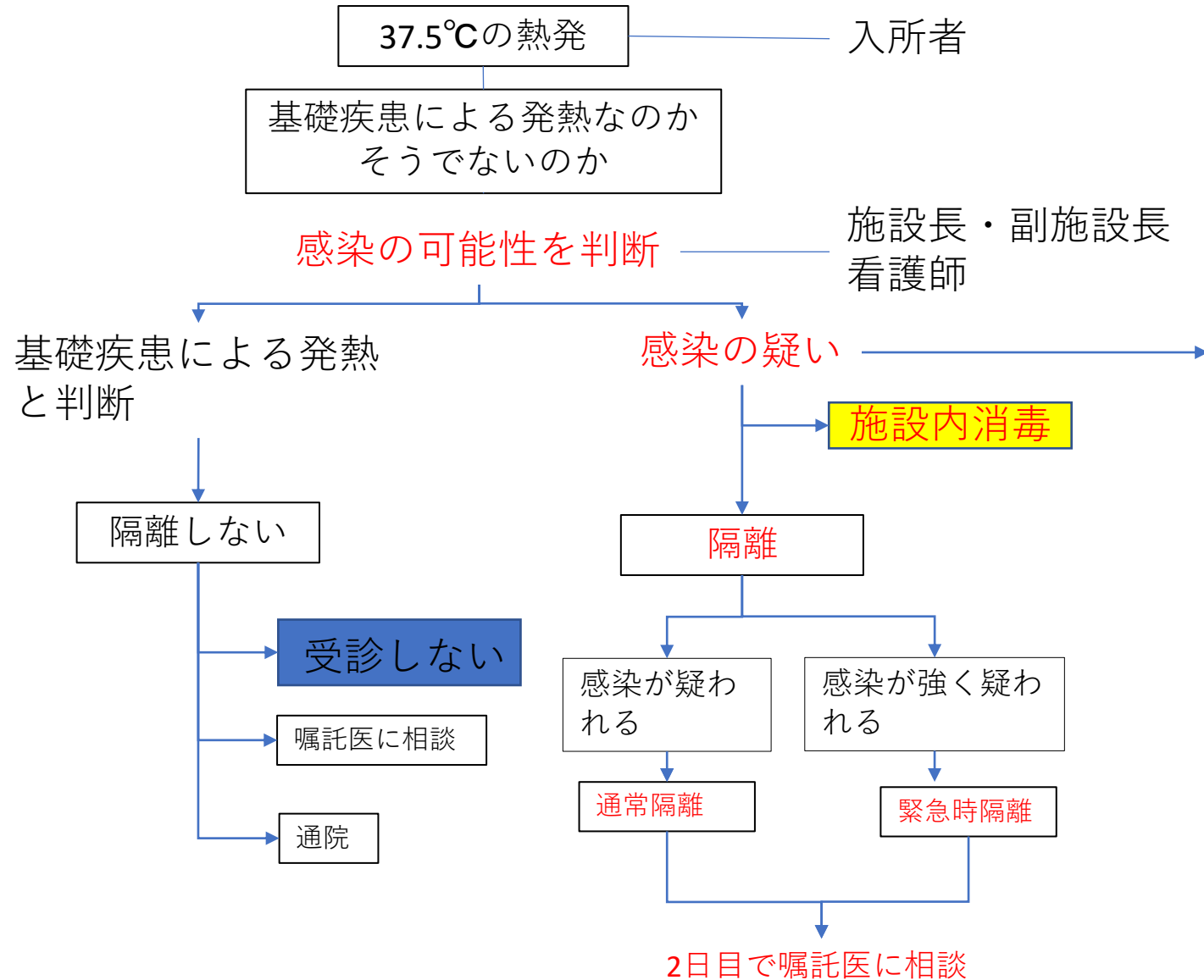
ハートフィールドの具体的手順

1 感染予防について

いつ	誰が	どこで	なにを	どのように
毎日	職員	職員玄関前	検温	出勤時 出勤6時間以降
毎日	職員	施設内	マスクの着用	
10:00 14:00 16:00	リーダー (実施責任者) 職員	ホール 廊下 居室等	換気	二方向の窓を開ける
8:00 15:30	看護師	施設内	利用者の検温	非接触型体温計を使用
毎日 14:00	出勤している 全職員	居室・廊下 ・ホール等	クリーンアップ 消毒	机・椅子・ドアノブ・トイレ アルコールでふき取り
運行後	運転手	送迎バス	消毒	アルコールでふき取り

2 早期発見対応フロー 入所者編 初日の対応

当日



職員がキャリアの可能性が高いため、即座にアンケートを実施

ハートフィールドとして感染の可能性を判断するための調査

- 1 本人への行動状況調査
 - ・当日実施 本人及び同居家族分を確認
 - ・熱発日より5日間振り返り
 - ・利用者との接触状況を確認
 - ・確認者（施設長・副施設長）

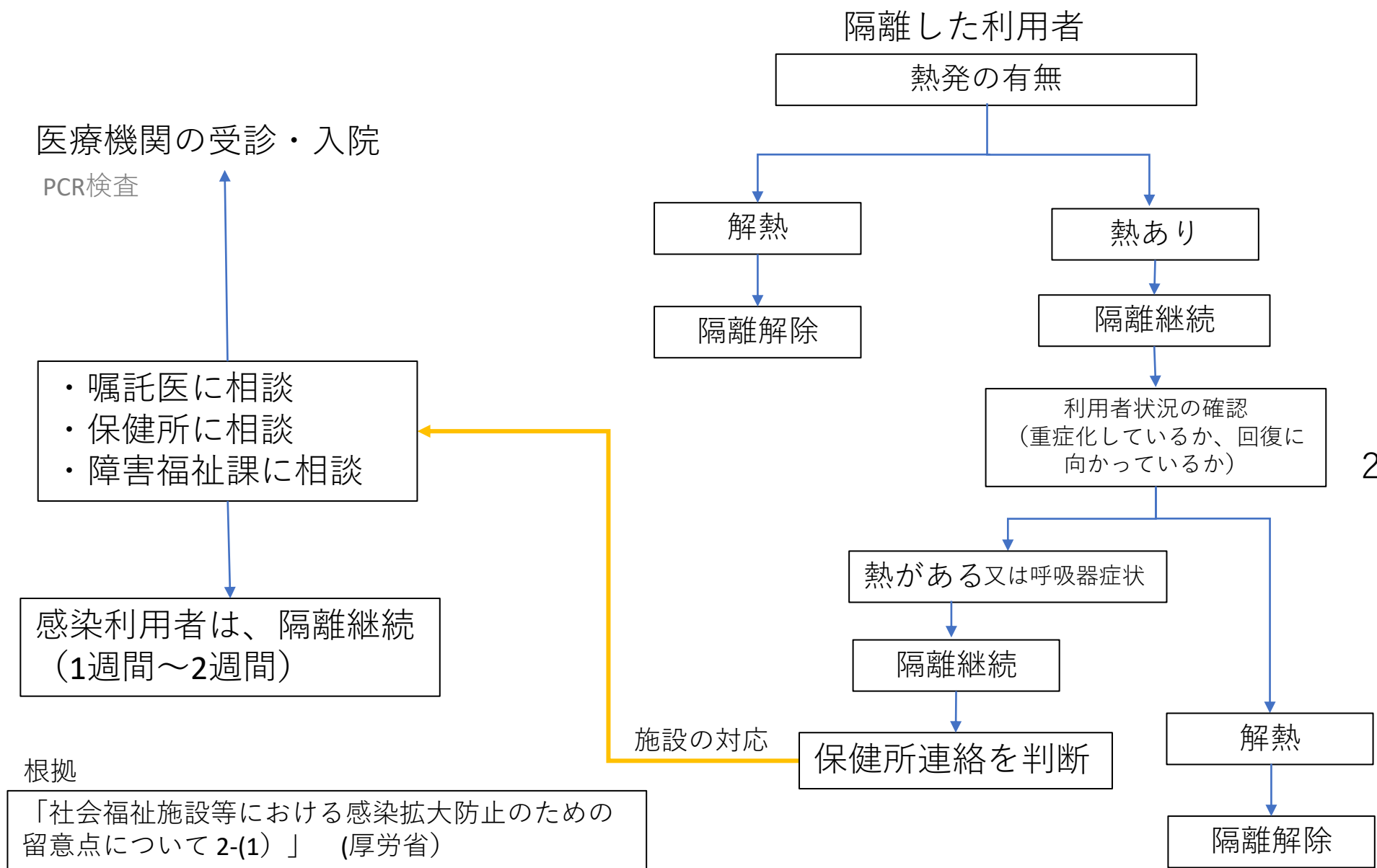
- 2 濃厚接触に関するチェックリスト
 - ・バスキャッチによるアンケート
 - ・締め切り時間厳守
 - ・他の職員への感染の可能性を判断（感染症対策委員会）

ハートフィールドとして感染の可能性を判断する根拠

2 早期発見対応フロー 入所者編 2日目の対応

2日目午前

2日目後15時



施設内で集団感染がおこった場合の対応シミュレーション

1 想定

- ・入所利用者の50%（20人）が罹患
- ・職員の50%が罹患（30人）が罹患

2 隔離について

- ・14日間実施

3 職員配置について

- ・14日間交代制を導入する（2交代制とする）
 - A 8：00～19：00 （26人 1日22人態勢 週6日勤務）
隔離者介護（14日間固定 5名/1日）
 - B 19：00～8：00 （4人 1日3人態勢 週6日勤務）
- ・発生時は業種に関係なく各支援に入る
（例）看護師や事務局が介護を行う、生活支援員が給食を作る等
- ・給食について
 - ・厨房職員がいれば厨房の職員を配置する
 - ・職員でも調理可能なメニューとする（緊急時献立表使用）

※施設としては、職員が感染しないための最大限の努力をしていきます。

4 集団感染の際に使用する備品

1	バスタオル	360枚	(清拭 1ヵ月分 2回/週 80枚)
2	フェースタオル	1800枚	(モーニングケア1回/日 280枚) (清拭用 2回/日 80枚)
3	マスク	職員用 約2300枚	(1日の勤務者25名) 92日分
		利用者用 1000枚	(コーヒーフィルター使用) 50日分
4	防護服	54着	(布製12枚 ビニール27枚 使い捨て24枚)
5	ゴーグル	9個	
6	キャップ	500枚	(6枚/1日) 83日分
7	アルコール	230本	1 L 12本/2週間 (230日分)
8	シールド	1000枚	

6居室の区分と職員配置

いつ	だれが	だれに	なにを（トリアージ）		どのように		参考	
感染が判明した段階	施設長 副施設長	感染した利用者	重症か軽症かを判断する	重症者	医療機関に連絡		重症とは、「症状が長引いている」「呼吸苦」「意識レベル低下」「食事や水分が取れない」状態を指し、この場合は、医療機関に連絡する。	
				軽症者を区分して居室の確保と移動	①自立度が高い利用者	1F居室4部屋に5名入れる 食事～居室にて 入浴～入浴中止、居室内で清拭対排せつ～居室ごとに決められた職員が対応 活動～日中活動禁止		
					②食事介助が必要な利用者			
		③胃瘻の利用者						
		施設長が作成	職員	職員配置	A勤務者とB勤務者に分ける A勤務者とB勤務者のリーダー決定	A	隔離者介護（1F担当）	6名（各居室担当4名、清拭、排せつ、食事、看護）
							非感染者介護（2階担当）	4名
	非感染者の入浴担当						3名	
	調理						4名（緊急時献立表使用）	
						清掃（換気・消毒）	2名	
						洗濯	1名	
					予備員（通院対応等）	2名		
				B	隔離者介護（1F担当）	2名		
					非感染者介護（2階担当）	1名		

7 症状のない入所者への対応

ブルーゾーンにて対応

- ベッド周囲のカーテンを閉め、他の入所者とのあいだに衝立を置くなどの飛沫感染予防を行う
- 定期的な換気を行う
- 食事はホールまたはラウンジ等共用エリアを使用
- トイレを専用とする必要はないが、使用するトイレを限定する
- 日中活動は中止（ただし、一定の距離を空けたうえであれば、テレビを観ることやリハビリも可能。入所者同士が触れ合ったり、近距離で会話したりすることがないように注意する）
- 職員は、マスクを必ず着用。排泄時は手袋着用
- 症状が現れた場合はレッドゾーンにて隔離となる

8 参考資料

感染防護具や消毒薬が入手できないとき

ア) サージカルマスク

布やガーゼによるマスクで代用する。鼻までが覆えるように工夫すること。ただし、防御機能は低下しているため、できるだけサージカルマスクを入手する。

イ) 手袋・使い捨てエプロン・アイゴーグル

○素手であっても、ケア直後の丁寧な手洗いで感染は防御できる。

○ゴミ袋の底に1カ所と側面の2カ所に穴を開けて、レインコートのように被ることで代用できる。

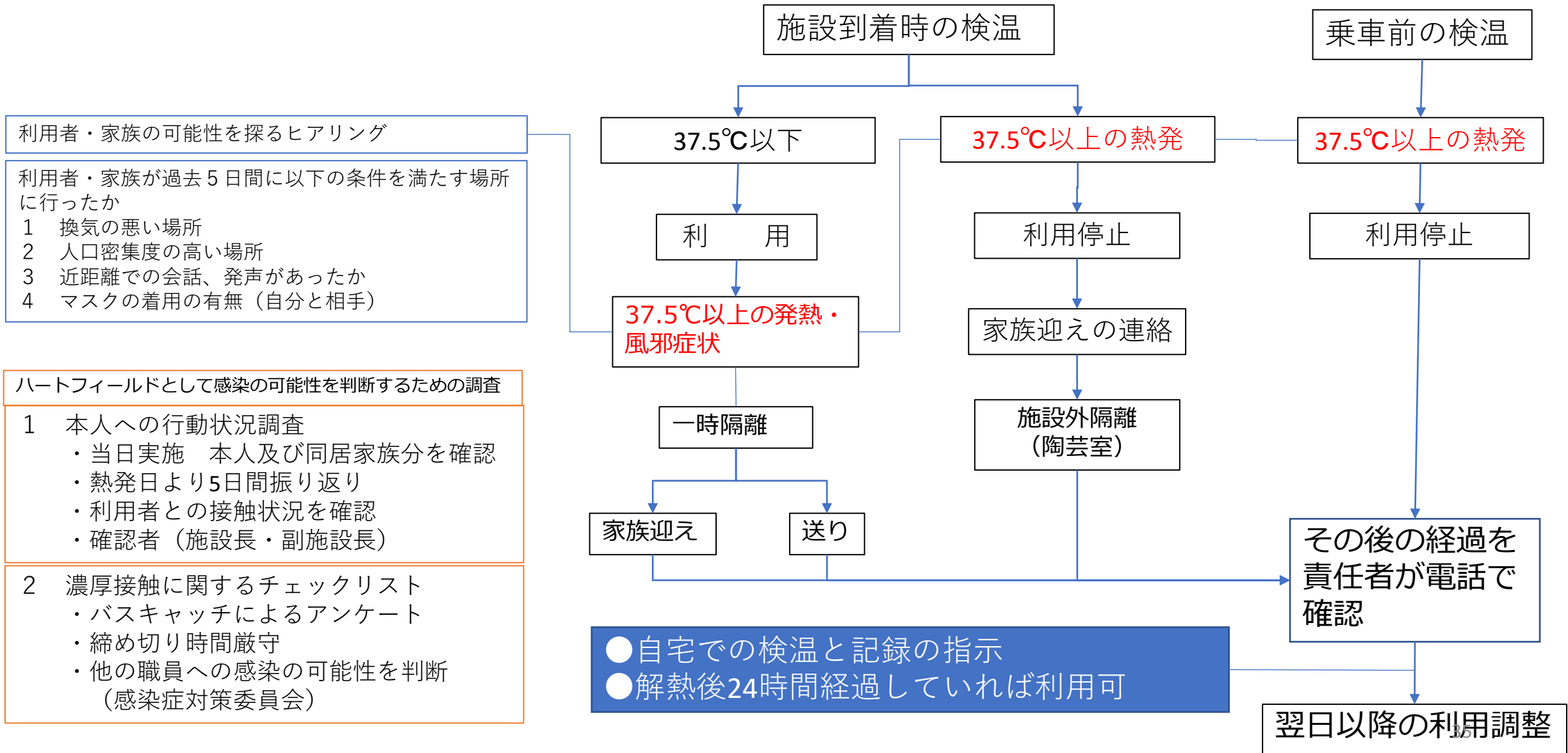
○透明なアクリル板を適切なサイズに切って眼鏡に張り付けることで防御できる。

ウ) 消毒用エタノール

○台所用合成洗剤を200倍に薄めた液体(水1Lに洗剤5mLを加える)でウイルスを不活化できる。
刺激があるため手指衛生には不適だが、環境清掃に使用できる。

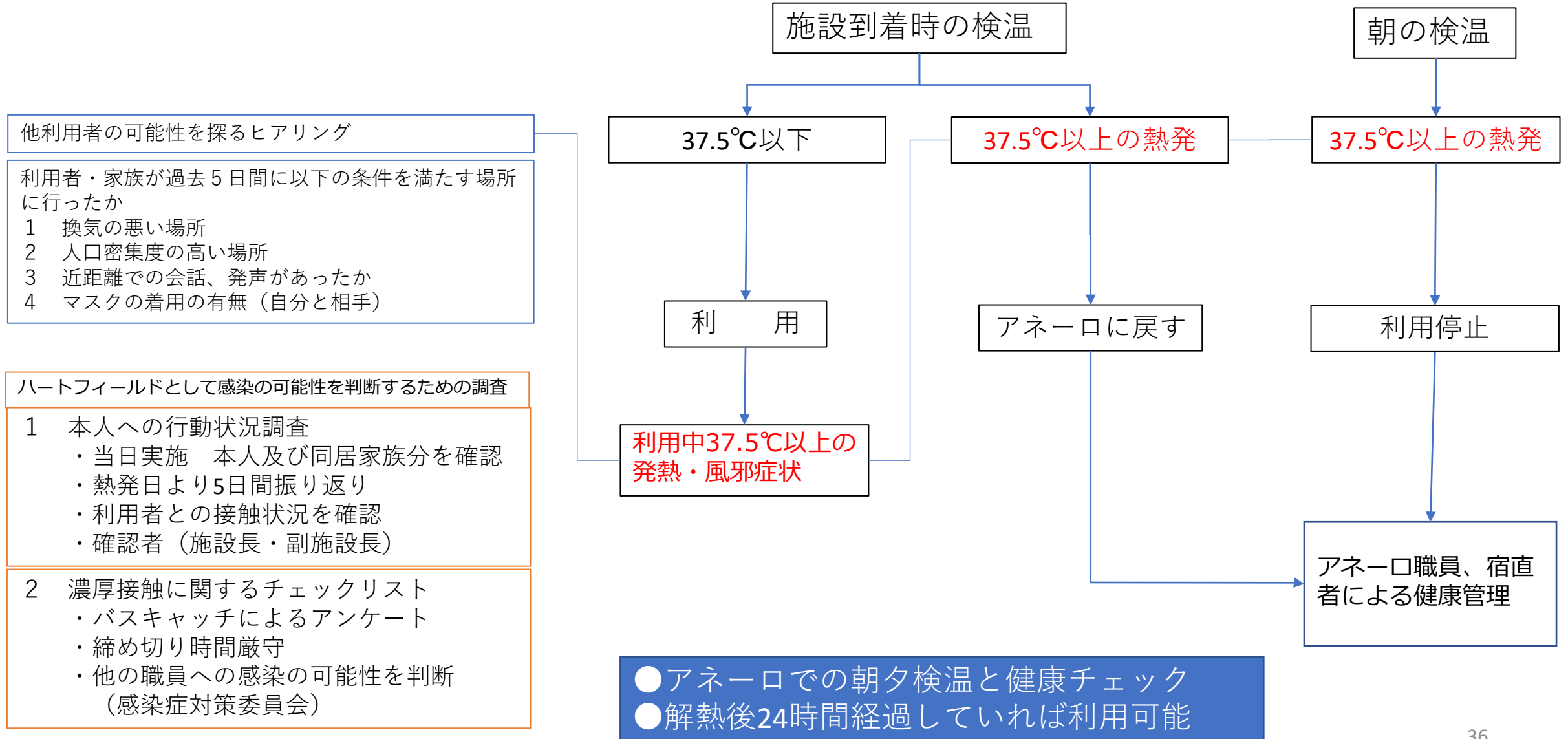
2 早期発見対応フロー 通所利用者編

* 家族送りの利用者は、玄関で検温



2 早期発見対応フロー アネー口編

家族送りの利用者は、玄関で検温

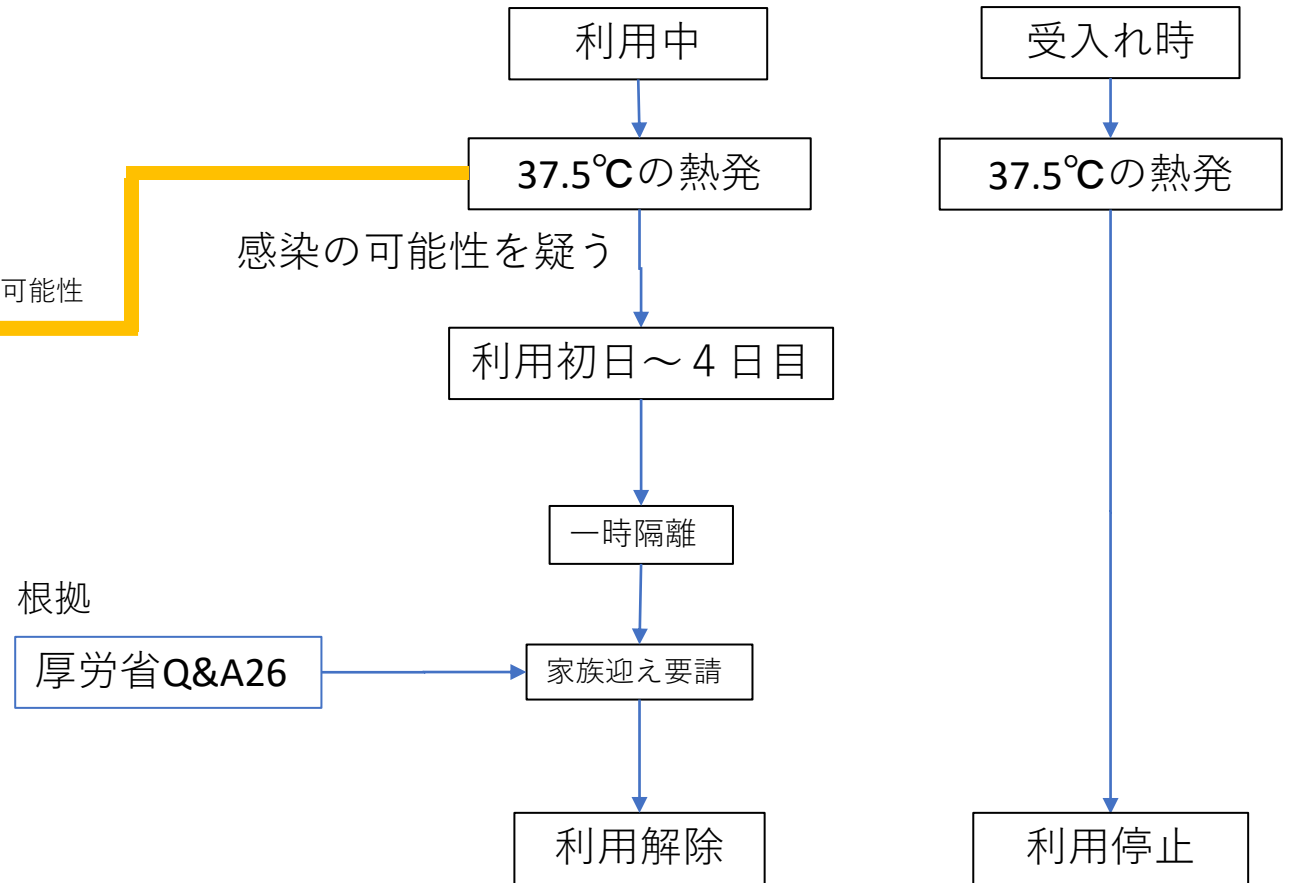


2 早期発見対応フロー 短期入所者編

●長期利用者は入所者と同様の対応

短期入所

- ハートフィールドとして感染の可能性を判断するための調査
- 1 本人への行動状況調査
 - ・当日実施 本人及び同居家族分を確認
 - ・熱発日より5日間振り返り
 - ・利用者との接触状況を確認
 - ・確認者（施設長・副施設長）
 - 2 濃厚接触に関するチェックリスト
 - ・バスキャッチによるアンケート
 - ・締め切り時間厳守
 - ・他の職員への感染の可能性を判断（感染症対策委員会）



3 - 1 感染の疑いがある利用者が出た場合の手順書

感染の疑いがある利用者が出た場合とは、ハートフィールド新型コロナウイルスの判断基準により、**利用者を隔離した段階とする**

1 いつ

3:00 巡回（夜勤者）
5:00 換気・検温（早番）
7:00 換気・排せつ介助（早番）
8:00 換気・食事介助・清掃・消毒（管理職）
11:00 換気・検温・排せつ介助・水分補給（管理職）
12:00 換気・食事介助（管理職）
14:00 換気・排せつ介助・水分補給（日勤感染対応者）
16:00 換気・清掃・消毒（日勤感染対応者）
17:00 換気・検温・食事介助・排せつ介助
（日勤感染対応者）
19:00 換気・水分補給（遅番）
21:30 巡回（宿直者）
23:00 巡回（宿直者）

2 誰が

対応職員について
当日の業務分担で**日勤感染対応者**を割り振る

3 どこで

隔離室
（施設にレッドゾーンに設置）

4 何を

- ・巡回、検温、排せつ介助、換気
食事介助、水分補給、様子観察

5 留意事項

- ・手袋・マスク着用、ゴーグル着用
- ・ガウンテクニック
- ・退出後、手洗いと消毒

3 - 2 感染が疑われる職員・利用者が出た場合の対応

1 施設

- ①施設内清掃、消毒の実施（10時、14時、17時）
 - ・ テーブル、スタッフルーム、手すり、車いす、ベッド柵等
- ②換気の徹底
 - ・ 10時、14時、16時
- ③車両消毒
 - ・ 始業前、14：30

2 職員

- ①行動状況を調査する
- ②濃厚接触者に関する判断リスト
- ③常時マスク着用
- ④検温を2回実施（始業時、始業より6時間経過後）
- ⑤濃厚接触者には健康状態聞き取り

3 利用者

- ①入所者全員 朝夕の検温実施（看護師、介護職）、健康状態の確認（看護師）
- ②通所・短期・放デイ 通常営業
- ③食事前の手指の消毒実施

0歳～2歳児に対する具体的手順

1 感染予防について

いつ	誰が	どこで	なにを	どのように
毎日	職員	職員玄関前 保育室	検温	出勤時 昼食時
毎日	職員	幼稚園内	マスクの着用	
10:00 12:00 14:00 16:00	担任	保育室	換気	二方向の窓を開ける
昼食前	担任	保育室	園児の検温 手指の消毒	非接触型体温計を使用 ウエルパス使用
保育後	担任	保育室	消毒	机・椅子・ドアノブ・トイレ アルコールでふき取り
運行後	運転手	スクールバス	消毒	アルコールでふき取り

2 早期発見対応フロー

0～2歳児園児編

園児・家族の可能性を探るヒヤリング

園児・家族が過去5日間に以下の条件を満たす場所に行ったか

- 1 換気の悪い場所
- 2 人口密集度の高い場所
- 3 近距離での会話、発声があったか
- 4 マスクの着用の有無（自分と相手）

クオーレの判断基準

- 1 全職員に行動状況の確認
 - ・当日実施 確認（対策委員会）
 - ・保管（対策委員会）
 - ・バスキャッチアンケート利用
- 2 濃厚接触に関する判断リスト
 - ・当日実施 全職員
 - ・バスキャッチアンケート利用

職員の感染の可能性を判断する根拠

保育中の検温

37.5℃以上の発熱・風邪症状

事務室で隔離

保護者迎え

保護者にヒヤリング

自宅での検温

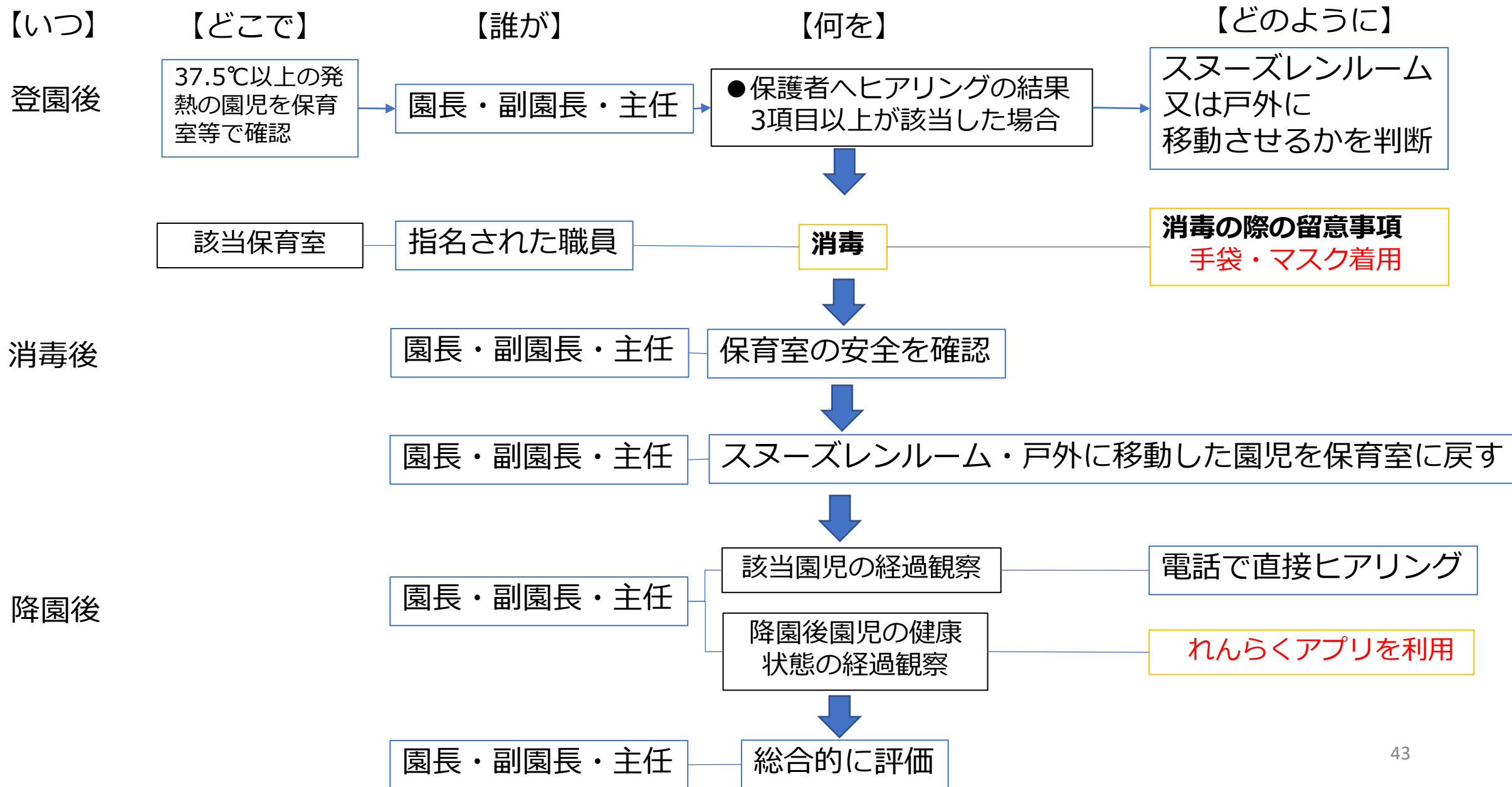
37.5℃以上の発熱

欠席

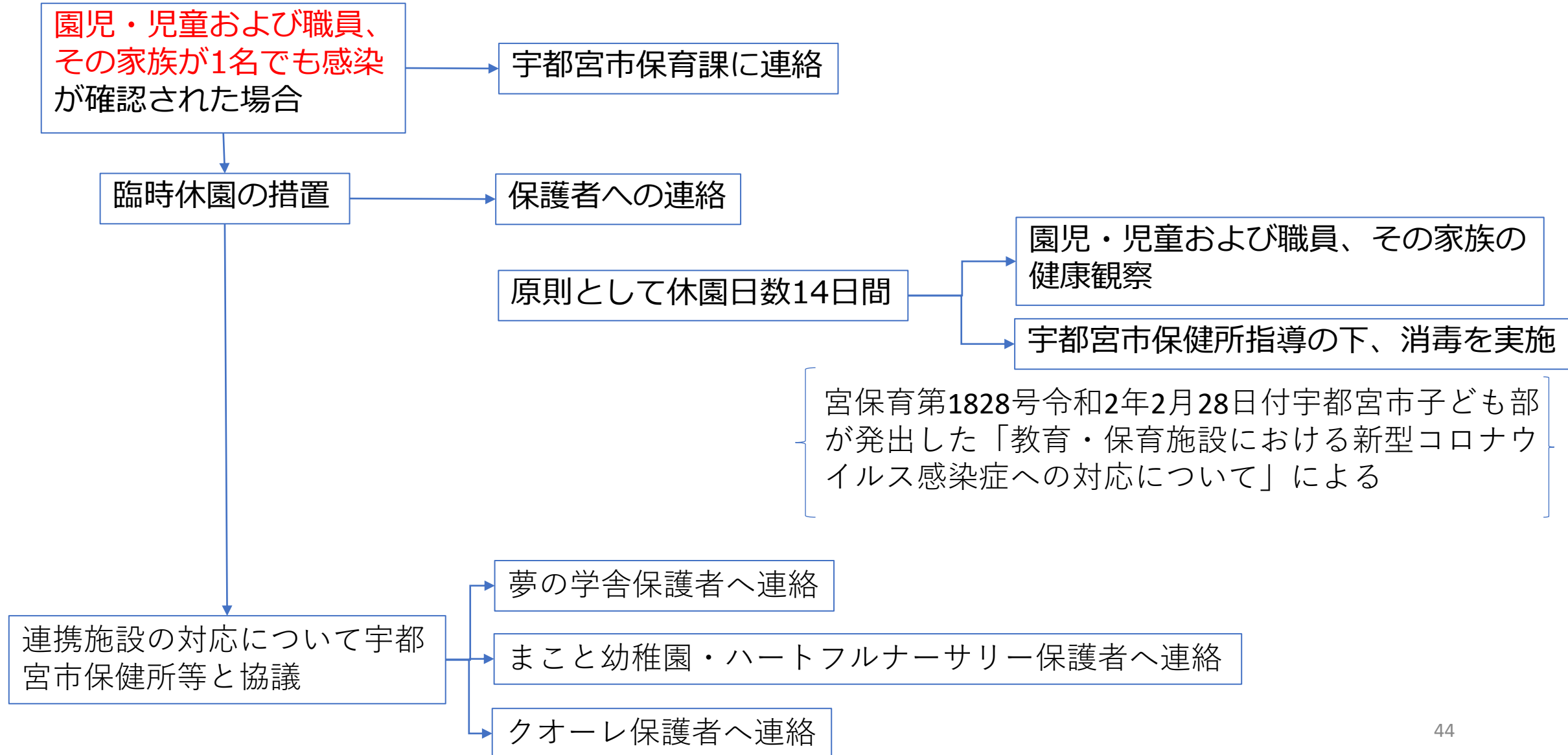
その後の経過を電話で確認

- 自宅での朝夕の検温と記録提出依頼
- 解熱後24時間経過後登園可（翌日は欠席）

3 発熱の園児が出た場合の**それ以外の園児**に対する対応



幼稚園・保育園・夢の学舎において新型コロナウイルスに罹患したことが確認された場合の対応



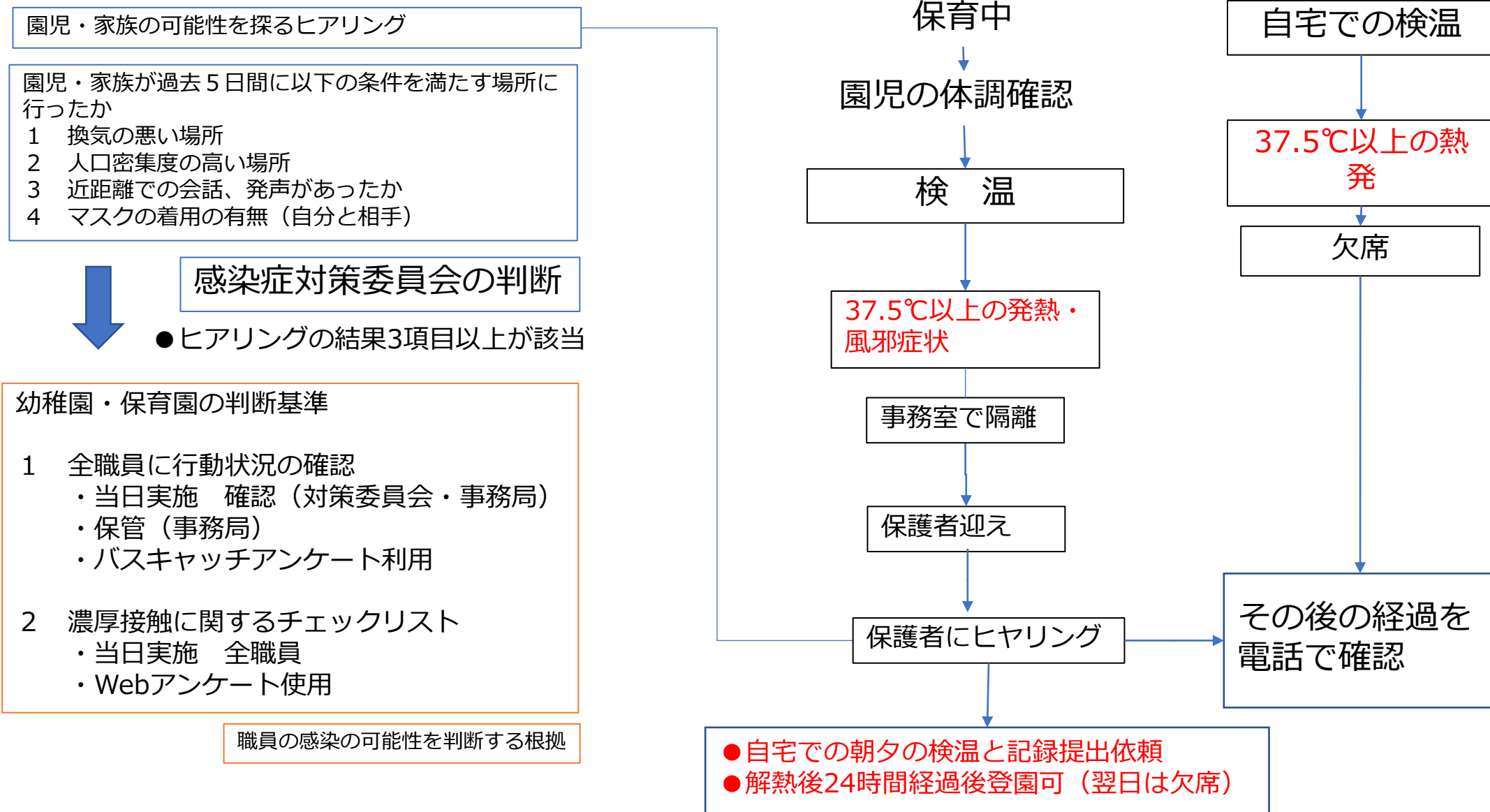
満三歳～5歳児に対する具体的手順

1 感染予防について

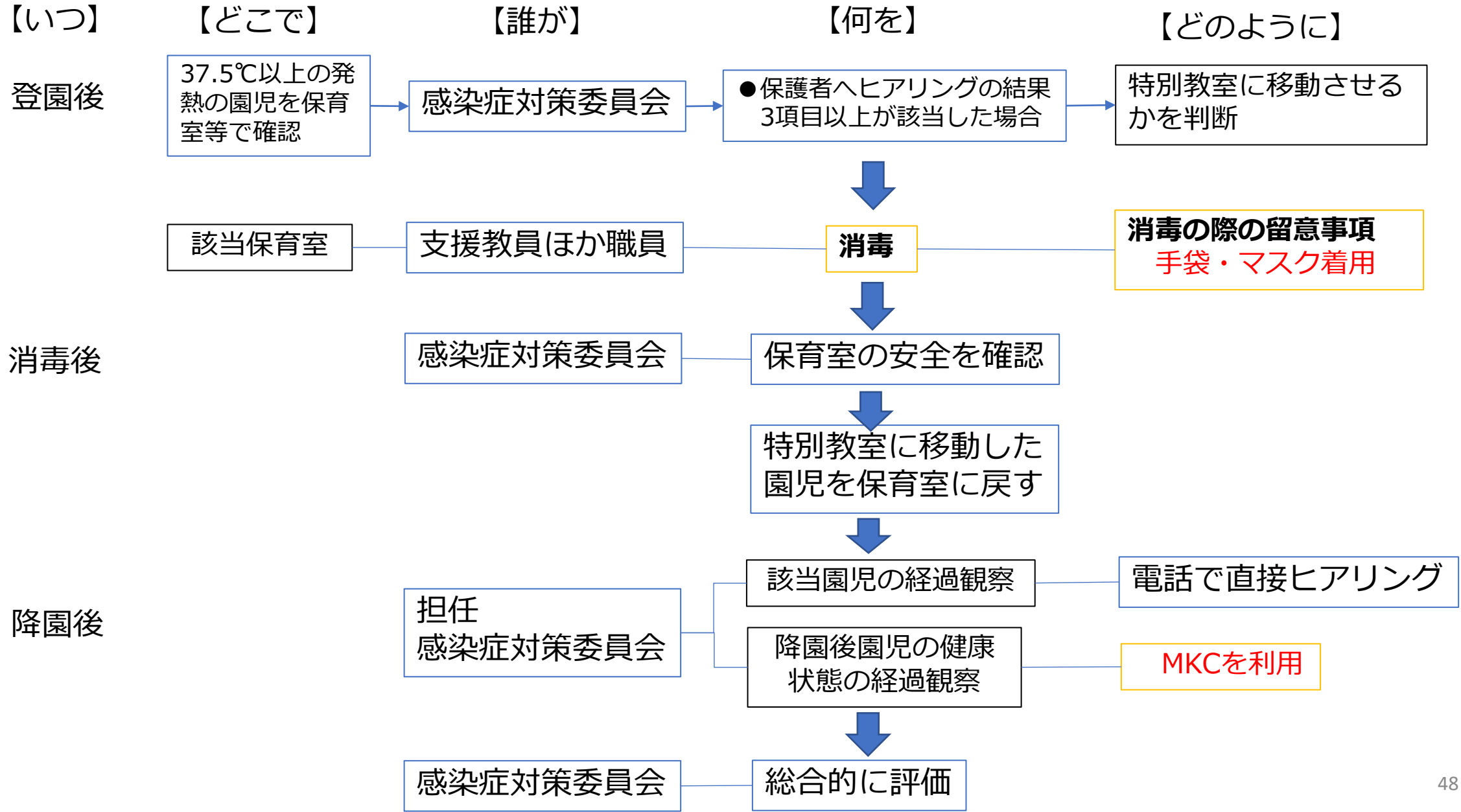
いつ	誰が	どこで	なにを	どのように
毎日	職員	職員玄関前 保育室	検温	出勤時 昼食時
毎日	職員	幼稚園内	マスクの着用	
10:00 12:00 14:00 16:00	担任	保育室	換気	二方向の窓を開ける
昼食前	担任	保育室	園児の検温 手指の消毒	非接触型体温計を使用 ウエルパス使用
保育後	担任	保育室	消毒	机・椅子・ドアノブ・トイレ アルコールでふき取り
運行後	運転手	スクールバス	消毒	アルコールでふき取り

2 早期発見対応フロー

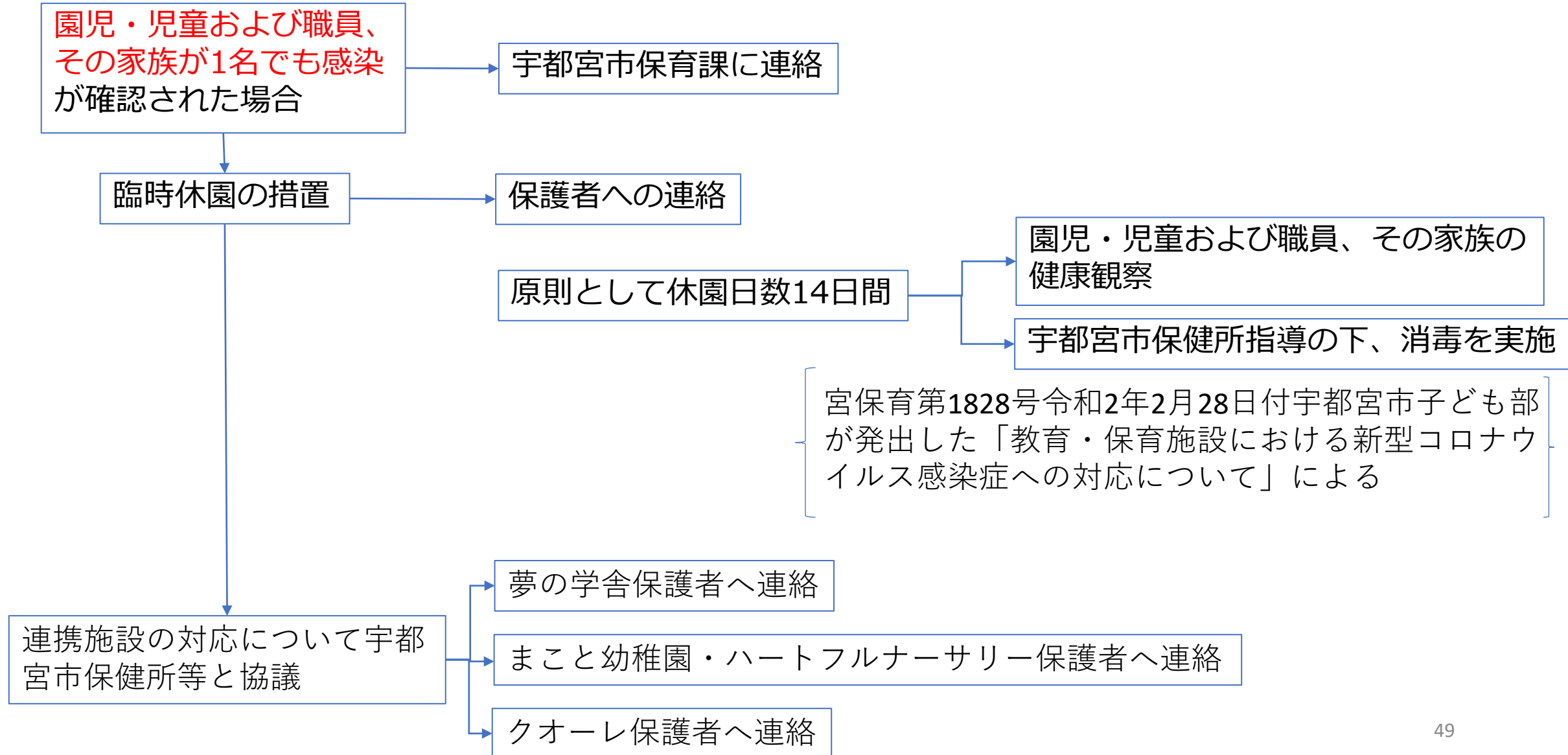
満三歳～5歳児編



3 発熱の園児が出た場合の**それ以外の園児**に対する対応



幼稚園・保育園・夢の学舎において新型コロナウイルスに罹患したことが確認された場合の対応



小学1年生～3年生に対する具体的手順

1 感染予防について

いつ	誰が	どこで	なにを	どのように
毎日	職員	職員玄関前 教室	検温	出勤時 昼食時
毎日	職員	教室内	マスクの着用	
10:00 12:00 14:00 16:00	担任	教室	換気	二方向の窓を開ける
昼食前	担任	教室	園児の検温 手指の消毒	非接触型体温計を使用 ウエルパス使用
活動終了後	担任	教室	消毒	机・椅子・ドアノブ・トイレ アルコールでふき取り
運行後	運転手	スクールバス	消毒	アルコールでふき取り

早期発見対応フロー

小学生編

利用時

利用前

児童・家族の可能性を探るヒヤリング

児童・家族が過去5日間に以下の条件を満たす場所に行ったか

- 1 換気の悪い場所
- 2 人口密集度の高い場所
- 3 近距離での会話、発声があったか
- 4 マスクの着用の有無（自分と相手）



幼稚園・保育園・夢の学舎の判断基準

- 1 全職員に行動状況の確認
 - ・当日実施 確認（対策委員会・事務局）
 - ・保管（事務局）
 - ・MKCシステムアンケート利用
- 2 濃厚接触に関する判断リスト
 - ・当日実施 全職員
 - ・MKCシステムアンケート利用

職員の感染の可能性を判断する根拠

利用中の検温

※検温をしてからの入室
 ※小学校迎え時は学校側から伝達がない場合健康と判断し乗車する

37.5℃以上の
 発熱・風邪症状

幼稚園事務室で隔離

早急な保護者
 迎え依頼

保護者にヒヤリング

朝、自宅での検温
 ※保護者協力依頼

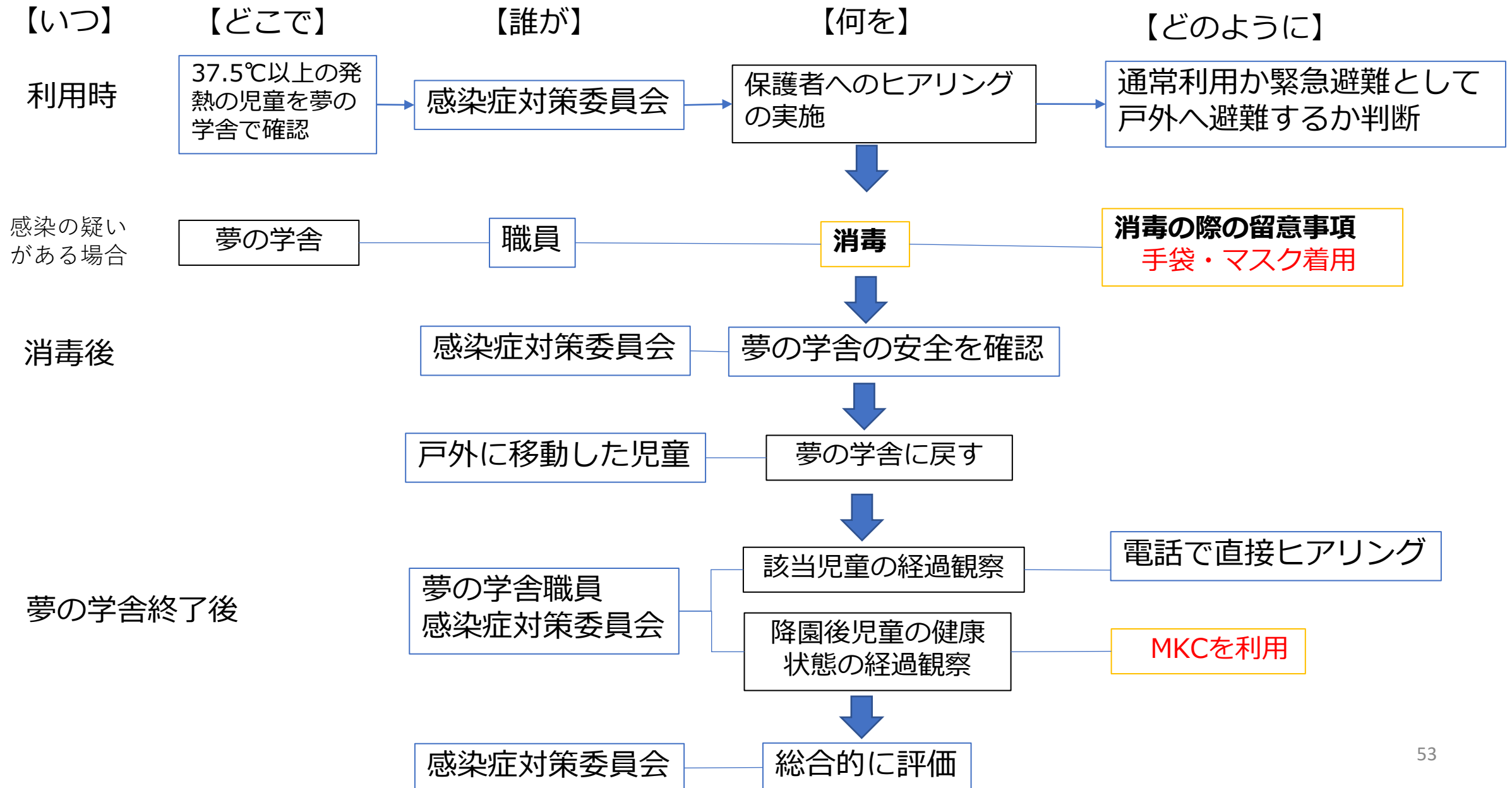
37.5℃以上の発熱

欠席の協力

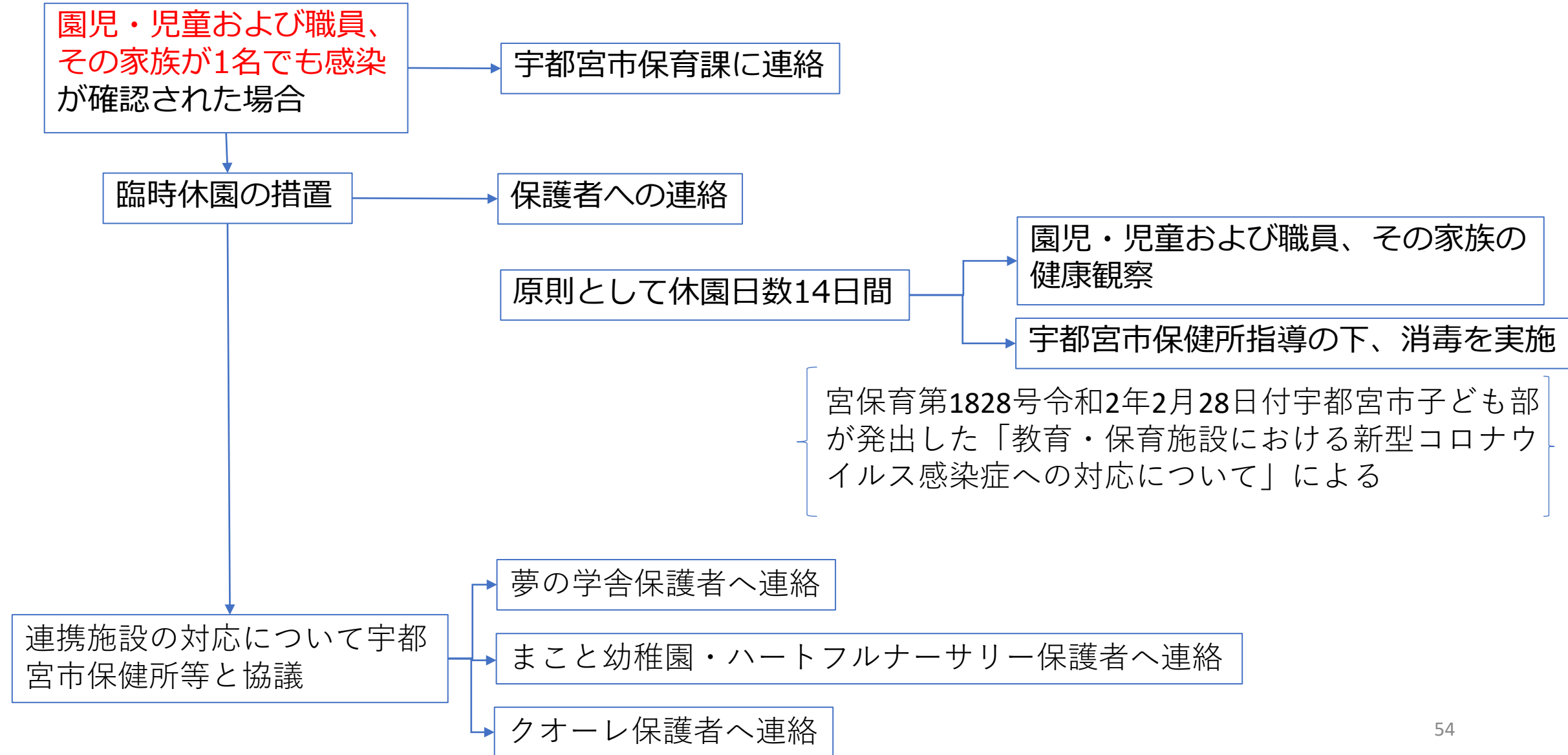
その後の経過を
 電話で確認

- 自宅での検温と記録提出依頼
- 解熱後24時間経過後登園可（翌日は欠席要請）

発熱の児童が出た場合の**それ以外の児童**に対する対応・運営(小学生)



幼稚園・保育園・夢の学舎において新型コロナウイルスに罹患したことが確認された場合の対応



(別添資料 2 - 1)

行動状況調査 (バスキャッチ)

12:38

ハートフィールド【職員】

社会福祉法人 葛場会
障害者支援施設
Heart Field (ハートフィールド)

メニュー

戻る アンケート

行動状況調査

葛場会内で、新型コロナウイルス感染の疑いのある職員又は利用者が発生した場合このアンケートが配信されます。必ずアンケートに回答し、返信してください。

Q1 3月〇日の勤務は何でしたか

- 日勤（通所、+も含む）
- 早番
- 遅番
- アネーロ
- ポコアポコ
- 休み

12:39

ハートフィールド【職員】

Q2 会社・自宅以外の場所に行きましたか

複数回答可能です。
スーパー、コンビニ、ドラッグストア等での買い物は除外します。

- レストラン・食堂等
- 通院
- カラオケ
- 映画館
- ライブハウス
- 観光地
- テーマパーク
- 理容・美容店
- デパート・アウトレット
- その他

Q3 外出中、その場に居た人の人数を総数で教えてください

例1) 通院時10人、美容室5人だったら15人
例2) レストラン20人、アウトレット50人だったら70人

- 5人以下
- 10人以下
- 20人以下
- 50人以下
- 100人以下

施設選択 ハートフィールド【職員】 ヘルプ

(別添資料 2 - 2)

簡易濃厚接触に関する チェックリスト

ハートフィールド【職員】

社会福祉法人 協働会
障害者支援施設
Heart Field (ハートフィールド)

メニュー

戻る アンケート

濃厚接触に関するチェックリスト

特定の利用者又は職員が新型コロナウイルスへの感染疑いがある場合、その人との接触について回答してもらいます。

素早い対応をしていくためにアンケート期間は短く設定されています。

Q1 ここ5日間で、職員の北田さんとの接触はありましたか

5日間それぞれの日について質問しますので該当する日の分はすべて回答してください。

なお、ここでいう「接触」とは新型コロナウイルスに感染（を疑われる）人と、①換気の悪い密閉空間に一緒にいたか、②多くの人が密集するところと一緒にいたか、③近距離での会話や発声があったか、が基準となります。①～③のどれかひとつでも該当する場合は「あり」として回答してください。

あり
なし

施設選択 ハートフィールド【職員】 ヘルプ

(別添資料 3 - 1)

発熱者行動状況ヒアリングシート

対象者：北田崇信

行動状況調査票

調査日時：2020.03.11 21:36

記録者：黒田 浩

いつ	本人の行動状況							家族内の感染の可能性			評価			
	どこで	誰と	何を	どの位の時間	マスク着用	手袋の着用	3条件		同居者の状況	3条件		評価の概要	感染の判定	
3/11 37.7°C 勤務：○	—	—	—	—	○	○	換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無	—	換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無	3/9に換気の悪い所で飲食をした 家族内に3条件に該当する人はいなかった	1. 感染の度合いが低い 2. 感染の度合いがやや高い 3. 感染の度合いが高い	○	体温管理と報告・マスクの着用 体温管理と報告・3日間の自宅療養 体温管理と報告・1週間の自宅療養	
3/10 勤務：L							換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無		換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無		1 本人及び同居者が3条件にあてはまらない 2 同居者が5日間の行動に3条件のいずれかの行動があてはまる 3 本人の5日間の行動に3条件のいずれかの行動があてはまる			
3/9 勤務：A	泉町	黒川	飲食	2時間	×	×	換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無	○ ○ ○ ×	—	換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無				
3/8 勤務：休							換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無		換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無					
3/7 勤務：休							換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無		換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無					
3/6 勤務：休							換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無		換気 人口密集度 近距離での会話 マスクの着用の有無					

(別添資料 3 - 2)

	A	BM	BN	BO	BP	BQ	BR	BS	BT
1	回答者	どれくらいの時間接触しましたか？ 5分以内	どれくらいの時間接触しましたか？ 5～10分	どれくらいの時間接触しましたか？ 10～20分	どれくらいの時間接触しましたか？ 20～30分	どれくらいの時間接触しましたか？ 30分以上	接触があった時、あなたはマスクを着用していましたか？ 未着	接触があった時、あなたはマスクを着用していましたか？ 未着	接触があった時、接触相手はマスクを着用していましたか？ 未着
6	木村 美貴					30分以上	未着		未着
7	森 漢里奈								
8	淡 美樹								
9	高山 晋								
10	橋代 有加里					30分以上		未着	未着
11	野中 岸代								
12	駒崎 良喜	5分以内					未着		未着
13	高橋 雪乃								
14	高野 和秀	5分以内						未着	未着
15	豊羽 由紀子								
16	同久 達 祐美子								

簡易濃厚接触に関するチェックリスト



左が生データです。

これを数値化して濃厚接触者の可能性をスクリーニングしています。



	A	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
1	回答者	どれくらいの時間接触しましたか？ 5分以内	どれくらいの時間接触しましたか？ 5～10分	どれくらいの時間接触しましたか？ 10～20分	どれくらいの時間接触しましたか？ 20～30分	どれくらいの時間接触しましたか？ 30分以上	接触があった時、あなたはマスクを着用していましたか？ 未着	接触があった時、あなたはマスクを着用していましたか？ 未着	接触があった時、接触相手はマスクを着用していましたか？ 未着
2	木村 美貴						5	1	0
3	高野 由紀子						5	1	0
4	黒川 和哉						5	1	0
5	小松崎 智恵子						5	0	0
6	上野 規宏								
7	橋代 有加里								
8	黒田 浩				3			1	0
9	森 漢里奈		1					1	0

各施設ごとに、可能性の高い人に対して個別に経過を観察していきます。



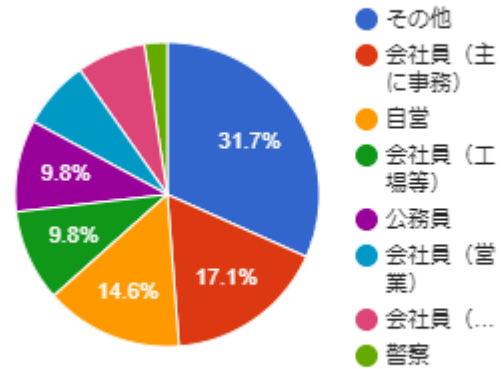
参考資料

- Top Management Letter30号～36号
- 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策（長崎大学病院）
<https://www.facebook.com/groups/HOMIS.collage/permalink/2789319387788721/>
<https://www.youtube.com/watch?v=4XL3Gp99az0&t=2452s>
- 第2版新型コロナウイルス感染症_市民向けハンドブック(東北医科薬科大学病院)

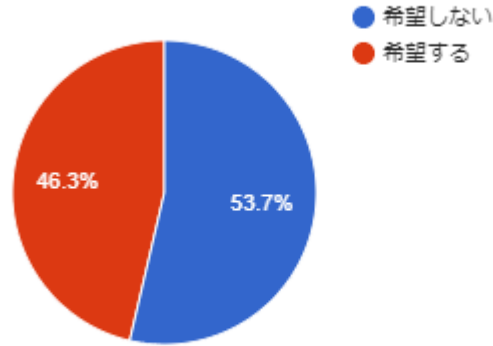
(ハートフィールド)

休業時の対応についてのアンケート結果分析

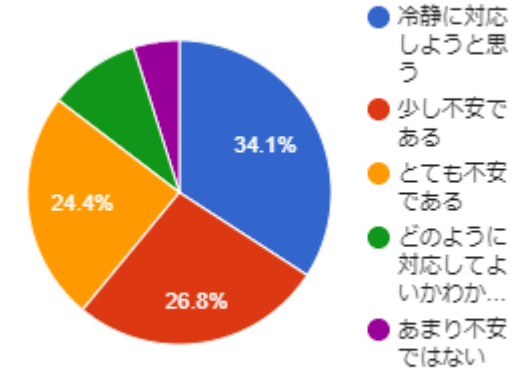
Q1 世帯主の職業を教えてください。



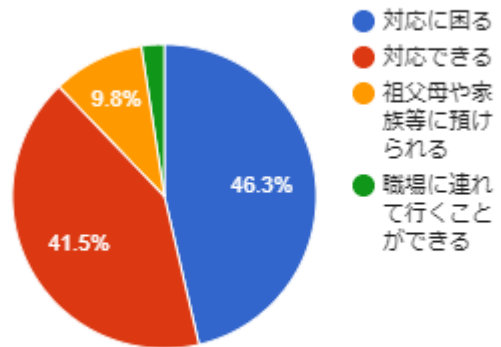
Q3 施設での感染は確認されていないと仮定し、栃木県内、宇都宮市内等で感染が拡大している場合、施設でのお預かりを希望しますか？



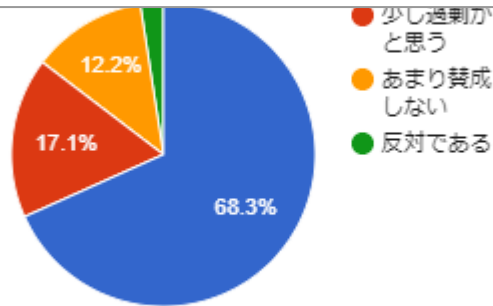
Q7 新型コロナウイルスの感染についてどのように感じていますか



Q2 休業措置がとられた場合、ご家族で対応できますか？



Q6 もし、施設での感染は確認されていないと仮定し、栃木県内、宇都宮市内等で感染が拡大し、通所や短期入所の休業措置がとられた場合、そのことについてどう思われますか？



・対象者…通所・短期入所・放デイ利用家族(50名)

・回答率…82% (回答41名)

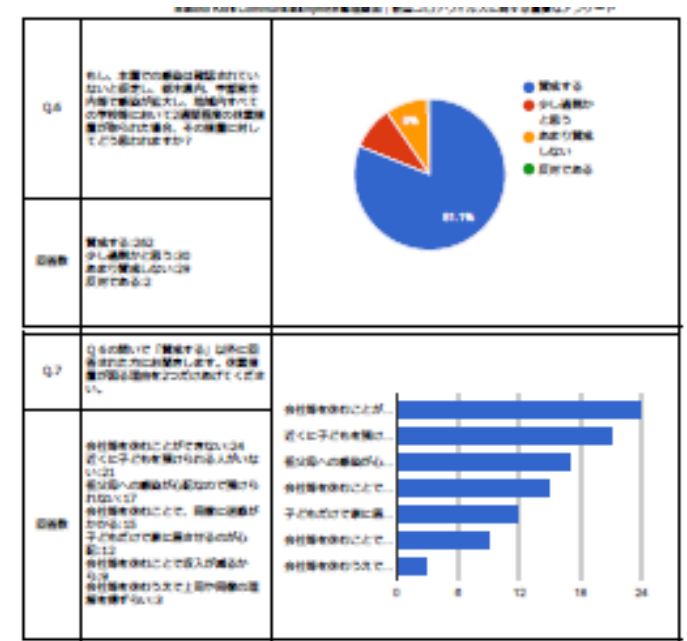
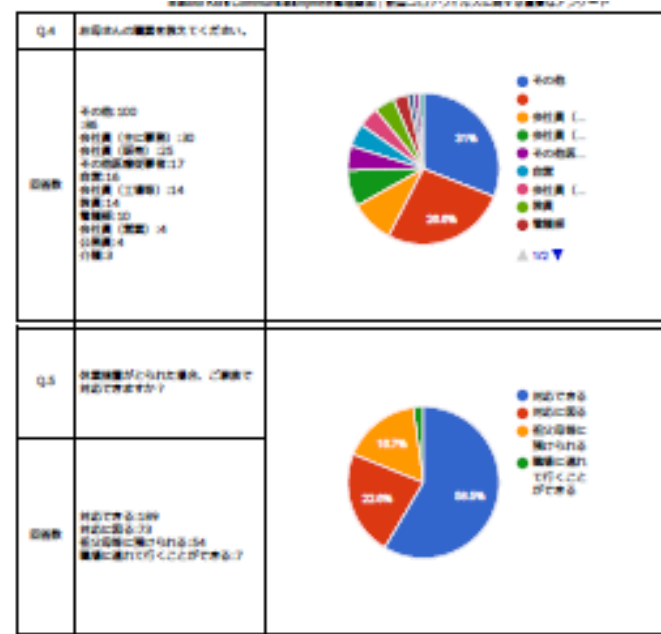
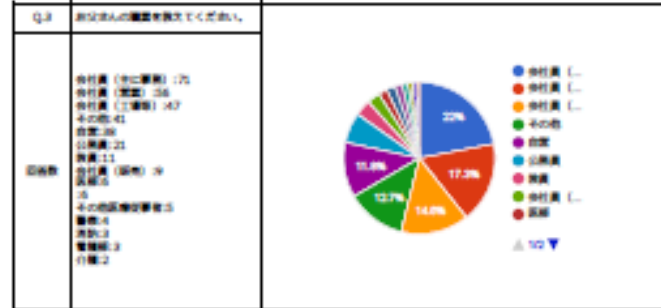
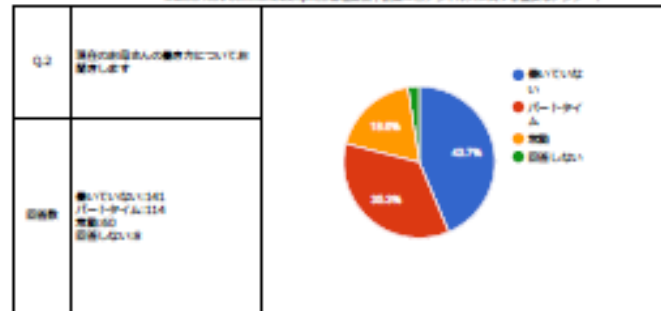
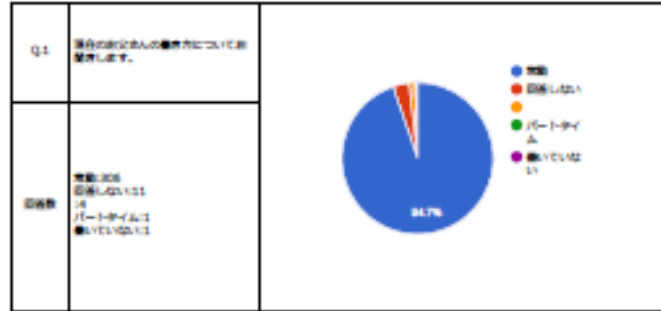
・結果分析

約半数の方々が休業になった場合は、家庭での対応は困難



施設での預かりを希望

まこと幼稚園 アンケート結果分析



Q.8	Q.8の問いで「賛成する」に回答した方以外の回答を掲載します。	
回答数	<p>このように対応ではやや効果がないと思うから反対 107 一概に賛成したほうが感染を予防できるから賛成 172 賛成・反対を併用しているからわからないから反対 172 子どもの様子を見ることのできるから賛成</p>	

Q.10	お母さんが働いている保育園や小学校の感染対策についてお母さんが賛成していますか？	
回答数	<p>賛成していない 127 賛成している 188 賛成していない 127 賛成している 127</p>	
Q.11	お父さんの仕事は、自宅ワークが可能ですか？	
回答数	<p>不可能である 126 可能であると回答 127</p>	

Q.12	お母さんの仕事は、自宅ワークが可能ですか？	
回答数	<p>不可能である 162 可能であると回答 149</p>	
Q.13	保育園での感染は確認されていないと仮定し、感染拡大、中絶地域内などで感染が拡大している場合、幼稚園での子どもの感染の予防を希望しますか？	
回答数	<p>希望しない 140 希望する 100</p>	

Q.16	新型コロナウイルスの感染についてどのように感じていますか？	
回答数	<p>冷静に判断しようと思う 110 よって不安である 104 少し不安である 101 どのように判断してよいかわからない 100 あまり不安ではない 12</p>	

対象者： まこと幼稚園在園児保護者 (340名)

回答率： 95% (323名)

区分 ハートフィールド

食種 常食

緊急時献立表

日付	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
朝食	コーンフレーク 牛乳 プレーンオムレツ マッシュポテト	冷凍パン スクランブルエッグ さつまいもマッシュ 牛乳	コーンフレーク 牛乳 オムレツミートソー スカケ かぼちゃマッシュ	冷凍パン ハンバーグ マッシュポテト 牛乳	コーンフレーク 牛乳 スクランブルエッグ マッシュポテト	冷凍パン 厚焼き卵 かぼちゃマッシュ 牛乳	コーンフレーク 牛乳 豆腐ハンバーグ フルーツカクテル缶
昼食	ごはん カレー はちみつレモンゼリ ー 枝豆クリームスープ	ごはん クリームシチュー アセロラゼリー 野菜スープ	ごはん ハヤシライス ラ・フランスゼリー ポテトのスープ	ごはん カレー マンゴー缶 コーンスープ	ごはん クリームシチュー みかん缶 野菜スープ	ごはん ハヤシライス りんごゼリー コーンスープ	ごはん カレー プリン 枝豆クリームスープ
夕食	けんちんうどん イチゴムース	スパゲティミートソ ース パンプキンスープ	きつねうどん 水ようかん	カルボナーラ 野菜スープ	けんちんうどん ピーチフルーチェ	スパゲティミートソ ース 野菜スープ	きつねうどん 水ようかん
成分	エネルギー 1,898kcal 蛋白質 80.1g 食塩 19.7g カルシウム 779mg 鉄 14.4mg 亜鉛 7.0mg	エネルギー 1,732kcal 蛋白質 85.5g 食塩 10.9g カルシウム 417mg 鉄 15.5mg 亜鉛 7.9mg	エネルギー 1,401kcal 蛋白質 57.6g 食塩 5.5g カルシウム 1,331mg 鉄 23.1mg 亜鉛 20.4mg	エネルギー 1,905kcal 蛋白質 67.0g 食塩 18.0g カルシウム 1,144mg 鉄 10.8mg 亜鉛 6.8mg	エネルギー 1,723kcal 蛋白質 52.2g 食塩 15.6g カルシウム 476mg 鉄 7.9mg 亜鉛 5.4mg	エネルギー 1,922kcal 蛋白質 88.5g 食塩 6.5g カルシウム 738mg 鉄 10.5mg 亜鉛 11.3mg	エネルギー 1,534kcal 蛋白質 57.9g 食塩 15.5g カルシウム 1,854mg 鉄 26.8mg 亜鉛 21.6mg

◎材料の都合等により、一部献立の内容が変わることがあります。

*緊急時対応が長期に渡る場合は、2週目以降もこの献立を繰り返し使用します。

新型コロナウイルスへの対応について発行・更新履歴

Ver.2 Ver.1からの変更点

- P3 ・子どもは感染しづらい
*ただし京都市南区所在の南保育所では、保育士から園児への感染があったことから、保育士は自分の行動に留意する必要がある。
・若い人の間で無症状で感染を拡大させていると推測されているを追加
- P10 幼稚園・保育園を安全地帯にを追加
- P12 謁謁会 → Educarealize に変更
- P13 Educarealizeグループとしての判断基準とその対処を追加
- P14 職員編 → グループ全体職員編に変更
判断基準に照らし合わせ（レベル2～3）の場合を追加
確認者（施設長・副施設長）→確認者（施設長・園長・副施設長・保育主任）に変更
- P16 ハートフィールドの具体的手順を追加
- P20 アネー口対応をページごと追加
- P22 1いつ 8:00と16:00に清掃・消毒を追加
- P23 3-2 感染が疑われる職員・利用者が出た場合の対応を追加
- P24～26 満三歳児～5歳児編を追加
- P28 （別添資料2-2）アンケートテンプレートを変更
- P29 （別添資料3-1）ヒアリングシートを追加
- P30 （別添資料3-2）濃厚接触に関するチェックリストを追加

Ver.3 Ver.2からの変更点

- P1 表紙 Educarealizeグループ全体のマニュアルであるため、各事業所の感染症対策委員会を記した
- P11 予防についてを追加
- P25～27 0歳～2歳児園児への対応を追加
- P31～33 小学1年生～3年生に対する具体的手順を追加

Ver.4 Ver.3からの変更点

- P17 37.5℃以上の発熱があった職員および濃厚接触が「高い」と判定された職員に対する感染症対策委員会の健康観察と管理を追加

Ver.5 Ver.4からの変更点

- P19 リスクは回避するのか選択するのかという問いを考えてみることを追加
- P29,33,37 幼稚園・保育園・夢の学舎において新型コロナウイルスに罹患したことが確認された場合の対応を追加

Ver.6 Ver.5からの変更点

- P4 新型コロナウイルス感染者数の推移を最新のものに変更
- P13 職員の健康管理と就業制限を追加
- P18 早期発見対応フロー（グループ全体職員編） 上司への報告が必要なものに「味覚・臭覚の異常」を追加
- P25～30 施設内で集団感染がおこった場合の対応シュミレーションを追加
- P48 行動状況調査をサンプルを最新のものに変更
- P56 緊急時における1週間分の献立表を作成、追加

Ver.7 Ver.6からの変更点

- P4 高齢者介護施設・障害者施設の対応方針（厚労省）
- P5 グループとしての対策の改善について
- P24 園児の保護者や利用者・ご家族へのお願いを追加
- P31 エリア設定を変更

発行・更新履歴

令和2年3月11日	Ver.1	発行	
令和2年3月13日	Ver.2	修正	(主な修正点) 幼稚園に対応
令和2年3月14日	Ver.3	修正	(主な修正点) 保育園・学童に対応
令和2年3月15日	Ver.4	修正	(主な修正点) 職員の健康管理について追加
令和2年3月17日	Ver.5	修正	(主な修正点) リスクは回避するのか選択するのかという問いを考えること 幼稚園・保育園・夢の学舎において新型コロナウイルスに罹患したことが確認された場合の対応
令和2年3月30日	Ver.6	修正	(主な修正点) 職員の健康管理と就業制限を作成、追加・施設内で集団感染がおこった場合の対応シミュレーションを作成、追加 緊急時における1週間分の献立表を作成、追加
令和2年4月13日	Ver.7	修正	(主な修正点) 園児の保護者や利用者・ご家族へのお願いを追加 高齢者介護施設・障害者施設の対応方針（厚労省）を追加